



学校だより  
【1月23日号】

## 校長室より㉕ 初詣

1/7(水)の午後から教職員で総社宮へ初詣に行きました。宮司さんから本殿に飾られている馬の絵の説明を受けました。手を合わせながら子どもたちはもちろんオールそうじやみんなが健康で幸せな日々が過ごせるように願いました。残り3ヶ月、よい締めくくりをして次の年度に向けた準備がしっかりできればと思います。



## 校長室より㉖ くすの葉 教職員編 ~互いを認め合える教職員集団に~



毎年、この時期に教職員間でくすの葉を書いています。互いのがんばりやすてきなところを綴って職員室に1週間掲示します。‘どのくすの葉もさすが先生方よく見てるなーと感心します’いくつになっても人から認められるってうれしいですね。



## 校長室より㉗ 地域企業からの応援金

180号線沿いのフェンスに掲げている看板が色あせてきていましたが、この度株式会社シンケン様と中国銀行様よりSDGs私募債「地域応援型」の寄付金をいただき、右の写真のような新しいものにかえることができました。地域の企業の方々に気にかけていただき、ありがとうございます。地域とともにによりよい学校を創っていきたいと思います。

## 校長室より㉘ コミュニティースクール



コミュニティースクールとは「学校や地域の課題に対して、学校と地域が知恵を出し合い、力を結集して解決に向け活動し、“自分たちの学校”をよりよいものにしていくための仕組み」です。現在総社市では、小規模の学校から設置を進めており、本校は令和9年度設置予定です。そこで、1/14(水)に岡山県教育庁生涯学習課地域学校協働アドバイザー 安田隆人先生を講師にお招きし、教職員、学校評議員、地域の方々で研修会を開き学習しました。研修会終盤では各々が総社小学校をどんな学校にしたいか話し合いました。課題に特化して解決に向けて学校と地域が力を合わせて解決を図っていくことや逆に総社小学校の強みをより広め深めていくことなどいろいろな意見が出されました。開設に向けてよい一步が踏み出せたと思います。